

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [寝屋川市立第七中学校] 担当教諭名 [太田 明夢] (2年1・2・3組 115名)
 相手国・地域 [パキスタン]
 海外学校名 [IMCG, St.25 F-6/2, Islamabad] 担当教諭名 [Nuzhat Fatima]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	ESD「アートマイル国際協働学習プロジェクト」	38
	放課後活動	ESD「アートマイル国際協働学習プロジェクト」	8
	学年・全校集会	ESD「アートマイル国際協働学習プロジェクト」	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	～人に地球に優しさの花束を～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	貧困や飢餓といった世界の諸課題を解決するのは「教育」の力である。日本の学校教育制度の優れていることを大きな鉛筆、パキスタンの学校教育の困難さを折れた鉛筆で示した。また、花が象徴するのは、世界をより良い場所にしたいという私たちの願望を種に、学習という水や肥料を通して開花することを表現している。



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
グローバル化する社会の持続的な発展に向けて、Society5.0の社会で活躍するための、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考、表現力、チームワークを、世界の多様な文化背景を持つ同世代との学び合いから、これらの素地を養うことができた。	SDGsとウェルビーイングでの具体的な指標のレベルが異なり、日本はSDG4の指標でみれば高水準である。しかし、学校的意思決定の生徒参画などまだまだ個人の尊厳が達成されているわけではない。今後の個人の幸せや生きがいが、地域や社会の豊かさや幸せを感じられるような学校教育に取り組みたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
国際交流を通して、多様な背景を持つ同世代と、地球規模課題について協働的に探究することで、SDGsの実現には、個人の貢献と世界中の協力が必要という、意識を持つことができた。また、アートマイル国際協働学習を通して、社会の変化や自己の生き方について主体的に考え参画する意識を醸成することができた。	グローバル化など社会変化を背景に、日本の教育だけではなく、各国の教育動向やパラダイム転換に理解が必要と感じた。また、パキスタンとの交流を通して、日本の教育の良さや課題をこれまでと異なる国際的な視点で見つめ直すことができた。グローバルとローカルの双方の視点で取り組みたい。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについてNIE (Newspaper in Education) を通して調べ学習 相手国の調べ学習、発表 学習のテーマ設定 SDG4について探究 レポート作成 	<p>世界の教育課題について関心を深めた。教育の格差や就学率の違いに驚く声が多く、「学校に通えることが当たり前でないと気づいた」などの意見が聞かれた。また、教育以外に文化や習慣を知る大切さを感じていた。</p>	総合
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> レポート発表 日本の教育の成果と課題を世界の現状との共通点・相違点の観点で考える 相手国の学習内容の共有 テーマについて展示物作成 	<p>「自分たちにできることは何かを考えたい」「学ぶ機会が限られている子どもたちのために、何か行動を起こしたい」という前向きな意見と共に、不登校など日本の教育課題についても目を向けるようになった。</p>	総合
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭の舞台発表準備 SDGs劇、プレゼンテーション、ダンス、モザイクアート、展示で学習の成果を生徒、保護者、地域に発表 ディベートマッチ 	<p>文化祭で取組の展示発表や、SDGs劇で「未来をみんなの力で変えよう」というメッセージを発信し、教育の力で未来を変えられる可能性について来場者に問いかけた。</p>	総合 放課後
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 相手国とオンライン交流 壁画制作 日本側の壁画の発表 	<p>言語の違いはあっても、お互い学ぶことへの熱意は同じといった声が聞かれた。</p>	学年集会 放課後
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 総合振り返り 学年発表 学校全体で発表 	<p>「世界の問題は遠い話ではなく、自分たちの行動次第で変えられることがある」といった意見もあり、「知る・考える」から「伝える・行動する」へと意識を高めることができた。また、共同制作により深くつながれたと感じている。</p>	総合 学年集会 全校集会

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	異なる文化を知るだけでなく、その背景にある価値観や社会の仕組みについても理解を深める姿が見られた。また、異文化に対して「違い」に注目するだけでなく、「共通点」や「相互理解の可能性」について考える様子が見られた。
主体的に考え行動する力	4	情報収集にとどまらず、問いを立てながら学習を進める生徒が多かった。また、学ぶだけでなく、自分にできることを考える姿勢が育ち、行動したいという声も多く、今後は継続的なアクションにつなげることが課題である。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	交流を通して、日本の教育の良さだけでなく課題もあるのではと新たな視点をもつ生徒もおり、議論を重ねる中で、はたして教育の力だけで解決できるのかと、他のSDGsとの関連についても関心を持っていた。今後は、学んだ視点をより広い社会課題に応用できるよう支援していきたい。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	オンライン交流では、文化や価値観の違いを理解しながら、積極的に質問し、自分の意見を伝えようとする姿勢が見られた。また、壁画制作では、教育の未来を共に描き上げることで協働の力が育まれた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	メッセージ作成では、自分の言葉で伝えることでより想いが深まったと感じていた。また、壁画制作では言葉だけでなく、色や構図に込める意味を考えながら想いを伝えようと工夫する姿が見られた。